

Shape your world



Ritsumeikan  
Asia Pacific University

# APU留学生の就職活動の課題

報告者

渡辺若菜 立命館アジア太平洋大学 言語教育センター特任講師  
2級キャリアコンサルティング技能士



# 立命館アジア太平洋大学 (APU) について

世界106か国からの**国際学生**2642名と国内学生3154名が学ぶ

(2023年5月現在、院生含む)

学部	国際学生の数
アジア太平洋学部	933
国際経営学部	1422
サステナビリティ 観光学部	51

出身国別人数 (学部生)	
韓国	405
インドネシア	375
中国	348
タイ	223
ベトナム	204
ミャンマー	120
バングラデシュ	108
台湾	88
インド	61
モンゴル	54
ネパール	39

- ・APU留学生の就活生は、文系の学部卒でアジア出身学生が主流である
- ・卒業後、技術・人文知識・国際業務の在留資格を得て就労している

# APU留学生の就職状況(2022年度)

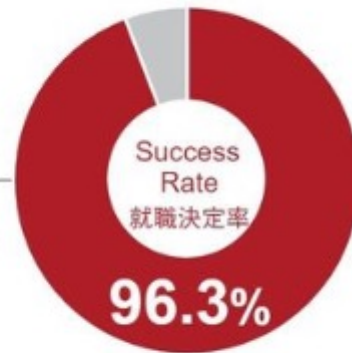
## International Students 国際学生

Job offer recipients  
就職決定報告者 **343**

Job seekers  
就職希望者 **356**

No. of Graduates 622  
卒業生・修了者 622名

Note : 219 out of 343 found a job in Japan  
(注) 343名のうち、日本国内で就職した学生は219名



2022年度の卒業生(国際)は622名であり、そのうちの356名が就職を希望していた。そして、343名が内定を得て、就職が決定したと報告した。

343名のうち、日本国内で就職した国際学生は、219名であった。

\*APUデータブック2023 28ページ

日本国内で就職した国際学生は、約64%  
年々減少している傾向

約6割が就職を希望  
あとの4割は？



# APU国際生の就職活動状況

- ・APUの専門科目の講義は、日英両言語で開講されている  
→英語で講義を聞き、レポートを書いても卒業が可能
- ・APU国際生の就活生は、日本語レベルがJLPTで示すとN2ぐらいが主流であると想定される
- ・秋入学、秋卒業の国際生が多いため、国内生の動きを見てから就活するとスタートが遅くなる(4年生になってから)

キャリア日本語受講生数	JLPT取得者の数(内訳)
23春 9名	N2取得者 3名    N1 5名
23秋 22名	15名/22名がN2またはN1合格者



# APU留学生の就職活動の課題(22年度～現在)

キャリアオフィス職員	キャリア日本語科目担当教員	
早く動き出す層と取り掛かりが遅い層がさらに二極化している	スタートが遅い	就活スタートの遅れ
外資系、コンサルを希望する学生が以前よりも増えた	エンタメ、日本でしか見つけられない企業、自動車企業、コンサル、自国の現地の日本企業	志望業界・企業の変化
日本型企業のスタート時の給料の低さ、柔軟な環境を求めている学生が増えている印象	「日本そのもの」に対する憧れはなくなっている	
日本の大学に来たのは日本企業に就職したいから、ではなく、ただアニメが好き、日本文化が好き、という理由をよく聞くようになった	どうしても日本企業じゃないとというわけではない	「日本で働く」は数ある選択肢の中のひとつ



①APU留学生の就職活動スタートは、

遅くなっている傾向にある

オンラインで就活ができる簡便さの一方で「就活スケジュール」を認識する機会が少ない

②メーカーよりも外資系コンサルを志望している

③どうしても日本で、日本企業で働きたいという

わけではない → 進路の多様化

キャリア支援の日本語教育はどうあるべきか

①転職を考えた時に学びが多い  
②若いときに今後のキャリアの基礎となるビジネス力がつけられる …という理由から

